

生活習慣病予防のための機能性食品開発に関する研究会 講演テーマ・講演者一覧(敬称略)

★2006年8月28日「食と運動の機能性に関する研究会」として発足、2010年7月6日「生活習慣病予防のための機能性食品開発に関する研究会」と改めて継続。

| 2011年 | 講演テーマ | 講演者(敬称略) |
|--------|---|---|
| 3月2日 | 変形性膝関節症の病態と食品による予防・改善 炎症性腸疾患(クローン病・潰瘍性大腸炎)の発症機序と腸内細菌叢 -食品による予防と改善の可能性- 老人性難聴の発症機序と食品による予防と改善 | 大阪大学 整形外科 助教 前達雄 滋賀医科大学 消化器内科 教授 藤山佳秀 東京大学大学院 医学系研究科 耳鼻咽喉科学 教授 山根達也 |
| 7月25日 | 医農連携へ向けての新たな挑戦 網羅的アロオキスが明らかにする栄養摂取、病態、加齢等による栄養動態変動の機序 肝臓の栄養代謝からみた食と疾病予防対策 | 京都府立医科大学 内科学教室 教授 吉川敏一 大阪大学大学院 医学系研究科 生体システム薬理学 教授 金井好克 金沢大学大学院 医学系研究科 第一内科 教授 金子周一 |
| 10月20日 | 医農連携へ向けての新たな挑戦 前立腺癌の発症機序と食品による予防と改善 北海道産素材の機能性評価の取り組み～シソエキスの抗アレルギー作用～ 還元型コエンザイムQ10 -食事からもちくと摂りたい- アンチエイジング素材としての明日葉カルコン、ボタンボウフウ(長命草) 大豆由来の脂質代謝調節機能素材PIPSナガセ 歯周病バイオフィルムを制御する鶏卵抗体(IgY)の開発 LOX-1を用いた変性LDL(酸化LDL)の活性測定法の確立 | 京都府立医科大学 学長 吉川敏一 帝京大学 医学部 泌尿器科講座 主任教授 堀江重郎 (株)アミノアップ化学 研究部 学術開発室 主任研究員 三浦健人 (株)カネカ QOL事業部 学術・知財グループ 幹事 藤井健志 タカラバイオ(株) 機能性食品部 大野木宏 ナガセケムテックス(株) 研究員 瀧美祐太 (株)ファーマフーズ 開発部 第2グループ グループ長 山下裕輔 (株)バイオマーカーサイエンス 解析センター長 大木誠 |
| 11月17日 | カナダサスカチュワン州 Ag-west bioの紹介 温州みかんの三ヶ日コホート研究 生活習慣病予防のための機能性食品開発に関する研究会 植物が生産するヒアルロン酸 生活習慣病予防のための機能性食品開発に関する研究会 | Ag-west bio President Wilf Keller (独)農業・食品産業技術総合研究機構 果樹研究所 主任研究員 杉浦実 不二製油(株) 執行役員 広塚元彦 東洋紡績(株) 総研 柴谷滋郎 京都府立医科大学 学長 吉川敏一 |
| 2012年 | 講演テーマ | 講演者(敬称略) |
| 2月28日 | 研究成果最速展開支援プログラム(A-STEP)の紹介 A-STEP採択研究「消化管は全身の新たな司令塔:食品研究へのアプローチ」 ドライアイの発症機序と食品による予防と改善 | (独)科学技術振興機構(JST) 産学連携展開部 技術移転プランナー 谷村修也 京都府立医科大学 消化器内科学 准教授 内藤裕二 慶應義塾大学 医学部 眼科 専任講師 川北哲也 |
| 7月2日 | 緑茶の機能性解明と利用技術の開発 教職員および大学生における生活習慣病予防のための調査研究 アスタキサンチンによる脂肪肝の進展抑制 | (独)農業・食品産業技術総合研究機構 野菜茶業研究所 上席研究員 山本(前田)万里 近畿大学 薬学部 医療薬学 教授 川崎直人 金沢大学 医薬保健研究域 脳・肝臓ファームデザイン研究センター 准教授 太田嗣人 |
| 9月20日 | アディポネクチン経路に着目した生活習慣病予防のための機能性食品開発 肥満予防が期待できる食品素材の開発(ファルネソール生産酵母の開発) 清酒から見出されたα-グルコシルグリセロールの機能性 酒粕から生まれた機能性新素材 プロファイバー 麹菌産生鉄キレート型環状ペプチド フェリクリシン、デフェリフェリクリシンの機能性 | 東京大学大学院 医学系研究科 糖尿病・代謝内科 特任准教授 山内敏正 白鶴酒造(株) 研究開発室 主任 山内隆寛 辰馬本家酒造(株) 研究開発室 室長 竹中史人 大関(株) 総合研究所 次長 峰時俊貴 月桂冠(株) 総合研究所 副主任研究員 入江元子 |
| 12月21日 | 食同源の視点から薬用食品にメタボリックシンドローム予防物質を探る セサミンの抗高血圧作用と血管弛緩作用メカニズム 抗がん剤シスプラチンの副作用緩和における漢方薬の役割 | 京都薬科大学 教授 吉川雅之 大阪薬科大学 病態分子薬理学研究室 教授 松村靖夫 星薬科大学 薬動学教室 教授 杉山清 |
| 2013年 | 講演テーマ | 講演者(敬称略) |
| 3月5日 | 腸管免疫修飾による動脈硬化予防法の開発 味覚受容体の昨日と消化管における役割～うま味を中心として～ | 神戸大学大学院 医学研究科 内科学講座 循環器内科学分野 講師 山下智也 味の素(株)イノベーション研究所 フロティア研究所 味覚・消化管研究グループ長 中村英志 |
| 6月21日 | リンゴポリフェノール(プロシアニジン類)の機能性について 医農連携の成果を普及させるための戦略研究 | (独)農業・食品産業技術総合研究機構 果樹研究所 栽培・流通利用研究領域 庄司俊彦 神奈川県立保健福祉大学 学長 中村丁次 |
| 9月24日 | 健康食品の現状と課題 機能性表示健康食品は、実現するか? :アベノミクスの規制改革による経済成長 | 公益財団法人 日本健康・栄養食品協会 理事長 下田智久 大阪大学大学院 医学系研究科 臨床遺伝子治療学 教授 森下竜一 |
| 11月18日 | 生活習慣病によるアルツハイマー病発症機構の解明に向けた基盤的研究 海藻起源の機能性食品素材:フコイダンとアガロオリゴ糖 生活習慣病対策の新規機能性食品素材 北海道産天然素材を用いた機能性食品素材の開発 ホウレン草糖脂質のがん対策(予防と治療) | 岐阜大学大学院 医学系研究科 神経生物分野 助教 太田和徳 タカラバイオ(株) バイオ研究所 主任研究員 大野木宏 (株)カネカ QOL事業部 機能性食品グループ 北村志郎 (株)アミノアップ化学 三浦健人 神戸学院大学 栄養学部 准教授 水品善之 |
| 2014年 | 講演テーマ | 講演者(敬称略) |
| 2月19日 | 「食による予防医学 ～ω3系脂肪酸とアンチオキシダント～」 「ナノテクノロジーを活用した天然有機化合物のヒト受容体探索と医学応用」 | 東京海洋大学 特任教授 矢澤 一良 慶應義塾大学 医学部 医化学教室 教授 末松 誠 |
| 7月18日 | くすりと食品機能に関するネットワークの形成 調剤薬局が期待する健康食品 見た目の科学からみたサプリメントの考え方 | 星薬科大学 薬物治療学教室 教授 亀井淳三 (株)阪神調剤薬局 薬局統括本部 教育研修部 研修リーダー 蓬萊哲也 近畿大学 アンチエイジングセンター 教授 山田秀和 |
| 9月29日 | ミカンに多いカロチノイド色素β-クリプトキサンチンと生活習慣病予防 新たな機能性表示制度の枠組と今後の展望 糖尿病と食生活:酸性体質の恐ろしさ | (独)農業・食品産業技術総合研究機構 果樹研究所 上席研究員 杉浦実 名古屋文理大学 フードビジネス科 教授 清水俊雄 京都府立医科大学大学院 医学研究科 細胞生理学 教授 丸中良典 |
| 11月14日 | 『食品薬学』—機能性食品素材に生活習慣病の予防及び改善に有用なシーズを求めて— タカラバイオの機能性食品素材について ユビキノール(還元型CoQ10)の抗疲労効果と市場展開 スノーデンのプラセンタ・紅参・乳酸菌 抗ストレス食品『アスバラス蒸熱水抽出物(ETAS)』と北海道食品機能性表示制度『ヘルシーDo』 | 近畿大学 薬学総合研究所/アンチエイジングセンター 准教授 森川敏生 タカラバイオ(株) CDMセンター 課長 大野木宏 (株)カネカ QOL事業部 幹事 藤井健志 スノーデン(株) 広報開発部 理事 高橋洋 (株)アミノアップ化学 学術部 学術開発室 前田哲宏 |
| 2015年 | 講演テーマ | 講演者(敬称略) |
| 2月27日 | カロチノイド類の生体調節機能に着目した抗がん食品提供技術の開発とその効果の実証研究 栄養成分としてのコラーゲンの作用 腸内細菌治療で健康腸寿 | 京都府立医科大学大学院 医学研究科 消化器内科 准教授 内藤裕二 (株)ニッピ バイオマトリックス研究所 理事・主任研究員 小山洋一 慶應義塾大学 医学部 消化器内科 教授 金井隆典 |
| 6月26日 | 挨拶 慢性咳嗽時の咳嗽感受性亢進機序とそれに対するマスカハニーの抑制効果 神経ペプチドGALPIによる摂食・エネルギー代謝調節 | 京都府立医科大学 学長 吉川 敏一 星薬科大学 薬物治療学教室 教授 亀井 淳三 星薬科大学先端生命科学研究所 生命科学先端研究センター 教授 塩田 清二 |
| 9月25日 | 挨拶 食物繊維由来腸内細菌代謝物、短鎖脂肪酸と抗肥満 腸内代謝物による免疫修飾作用と炎症性腸疾患 | 京都府立医科大学 学長 吉川 敏一 東京農工大学大学院 農学研究院 応用生命化学専攻 准教授 木村 郁夫 慶應義塾大学 薬学部 生化学講座 教授 長谷 耕二 |
| 11月27日 | 挨拶 人を対象とした疫学研究における科学的エビデンス メタボリックの食品・生薬の官能評価への応用 | 京都府立医科大学 学長 吉川 敏一 大阪大学大学院 医学系研究科 臨床統計学 教授 新谷 歩 大阪大学大学院 工学研究科 生命先端工学専攻 教授 福崎 英一郎 |
| 2016年 | 講演テーマ | 講演者(敬称略) |
| 3月7日 | 挨拶 生体移行性に注目した食品由来ペプチドの機能性研究 食と肥満:腸管の役割 | 星薬科大学 学長 田中 隆治 京都大学大学院 農学研究科 教授 佐藤 健司 京都大学大学院 医学研究科 教授 兼 京都大学医学部附属病院 病院長 稲垣 暢也 |
| 7月1日 | 挨拶 シート型生体センサによる医療、介護、福祉、ヘルスケアへの貢献～パッチ式脳波センサを例に～ 食品機能とバイオセンサー | 星薬科大学 学長 田中 隆治 大阪大学 産業科学研究所 先進電子デバイス研究分野 教授 関谷 毅 大阪大学大学院 高層研究科 精密化学・応用物理学専攻 教授 民谷 栄一 |
| 9月26日 | 挨拶 ビフィズス菌GCL2505株の機能性研究 乳酸菌・腸内細菌の新たな脂肪酸代謝—機能性脂肪酸生産と腸内脂質代謝制御への展開— | 京都府立医科大学 学長 吉川 敏一 江崎グリコ(株) 健康科学研究所 チームリーダー 滝井 寛 京都大学大学院 農学研究科 応用生命化学専攻 応用微生物学講座 助教 岸野 重信 |
| 11月25日 | 挨拶 オルガノイド培養法を用いた腸内細菌と宿主の相互作用の研究 健康に寄与する微生物の育成により皮膚疾患を予防する脂肪酸素材 | 京都府立医科大学 学長 吉川 敏一 慶應義塾大学 医学部 消化器内科 助教 佐々木 伸雄 大阪市立工業研究所 生物・生活材料研究部 脂質工学研究室長 永尾 寿浩 |
| 2017年 | 講演テーマ | 講演者(敬称略) |
| 2月27日 | 挨拶 腸内環境・腸内微生物叢を標的とした高機能農林水産物開発:現状と展望 食品機能性評価のための新規マーカーの探索 | 星薬科大学 学長 田中 隆治 京都府立医科大学大学院 医学研究科 准教授 内藤裕二 (公財)神奈川科学技術アカデミー 常勤研究員 亀井飛鳥 |
| 7月5日 | 挨拶 生活習慣病予防・改善に役立つ希少糖の生理機能 希少糖含有シロップ～レアシュガースウィートの食品への利用～ | (公財)ルイ・バストール医学研究センター 理事長 吉川敏一 香川大学 副学長・医学部 細胞情報生理学 教授 徳田 雅明 松谷化学工業株式会社 研究所 課長代理 内山 朋子 |